

2020年9月30日

各 位

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2020年7月～9月期)」の実施結果について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行(頭取 服部 博明)は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査(2020年7月～9月期)を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	2020年8月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先:1,800先、うち有効回答:1,302先 (有効回答率 72.3%)
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I 新型コロナウイルスの影響について等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

兵庫県内中小企業の景況調査 (2020年7月～9月期)

調査方法等
 調査時点 2020年8月
 調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
 調査方法 聞き取りによるアンケート調査
 依頼先数 1800社
 有効回答数 1302社(有効回答率72・3%)

【調査結果】

・景況判断は7・6ポイント改善の▲49・8となり、7四半期ぶりに改善した。製造業、非製造業ともに企業規模にかかわらず改善したが、53・4%が「悪い」と判断している。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、経済活動は戻りつつあるも人との接触を避ける行動が続いており国内消費の回復には時間を要すると考えられる。
 ・新型コロナウイルスについて経営に影響があるとする企業は66・5%で、今後影響がでるとみる企業が24・1%と前回同様約9割の企業が影響があると考えている。
 ・今年6月の売上水準(前年同月比)は、「売上増加」が5・8%、「横這い」が45・5%、「1割以上減」が48・7%となった。
 ・今後の見通しは2・9ポイント改善の▲46・9となった。前回の大幅マイナスからは改善したものの景況判断水準は低く、景気回復の遅れが懸念される。

1 景況判断

改善するも53・4%が「悪い」と判断

『全産業』は7・6ポイント改善の▲49・8と7四半期ぶりに改善したが、53・4%が「悪い」と判断している。

調査 集計・分析 みなと銀行 ひょうご経済研究所

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	372	28.6
建設業	199	15.3
卸売業	193	14.8
小売業	77	5.9
不動産業	151	11.6
運輸業	69	5.3
宿泊・飲食業	15	1.2
医療・福祉	54	4.1
サービス業	103	7.9
その他	69	5.3
非製造業	930	71.4
無回答	0	0.0
合計	1,302	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
5名以下	128	9.8
6～10名	152	11.7
小計	280	21.5
11～20名	227	17.4
21～50名	390	30.0
51～100名	197	15.1
小計	814	62.5
101～200名	110	8.4
201名以上	94	7.2
小計	204	15.7
無回答	4	0.3
合計	1,302	100.0

※ DI (Diffusion Index)
 景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合
 - 「悪い」と回答した企業の割合

『製造業』は企業規模にかかわらず改善し、全体として4・2ポイント改善の▲55・4となるも、5四半期連続のマイナス判断となった。
 『非製造業』は9・0ポイント改善の▲47・5と、「その他」以外の業種で改善となった。
 地域別では、全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善した。
 先行きは『製造業』は1・9ポイント、『非製造業』は3・3ポイントの改善と予想している。

2 売上高判断

製造業、非製造業ともに改善

『全産業』は5・4ポイント改善の▲44・8となった。『製造業』は販売数量、販売単価とも上昇し、▲51・3となった。『非製造業』も販売数量、販売単価とも上昇し、▲42・1となった。
 業種別は医療・福祉、サービス業が悪化し、それ以外の業種は改善となった。
 地域別は全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善となった。
 先行きは『製造業』、『非製造業』ともに改善を予想している。

3 経常利益判断

製造業、非製造業ともに改善

『全産業』では6・4ポイントの改善の▲41・2となった。『製造業』、『非製造業』ともに改善した。業種別ではサービス業以外の業種で改善した。特に小売業、不動産業が大きく改善した。
 地域別は、全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)で改善したが、マイナス判断が続いた。先行きは、『製造業』、『非製造業』ともに改善の予想で、全体では3・0ポイントの改善を見込む。

項目	1. 景況判断			2. 売上高判断			3. 経常利益判断						
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[販売数量]		[販売単価]		[前回]	[今回]	[見通し]
	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月
全産業	▲57.4	▲49.8	▲46.9	▲50.2	▲44.8	▲42.0	▲49.5	▲44.0	▲17.3	▲15.5	▲47.6	▲41.2	▲38.2
小規模企業	▲52.1	▲43.4	▲39.6	▲40.3	▲34.4	▲34.3	▲40.2	▲32.1	▲14.7	▲11.9	▲38.5	▲32.6	▲31.8
中小企業	▲59.0	▲51.7	▲49.2	▲52.8	▲48.8	▲44.8	▲52.0	▲47.9	▲19.0	▲16.5	▲50.1	▲44.0	▲40.7
中堅企業	▲58.2	▲51.5	▲48.0	▲53.6	▲43.6	▲42.6	▲51.5	▲45.9	▲13.8	▲16.3	▲50.0	▲42.6	▲38.2
製造業	▲59.6	▲55.4	▲53.5	▲51.8	▲51.3	▲47.0	▲50.9	▲50.4	▲13.9	▲13.5	▲49.7	▲46.8	▲42.5
小規模企業	▲60.9	▲53.8	▲38.5	▲43.5	▲38.5	▲38.5	▲39.1	▲38.5	▲13.0	▲15.4	▲43.5	▲38.5	▲30.8
中小企業	▲61.1	▲56.8	▲57.2	▲53.0	▲54.2	▲49.8	▲53.0	▲53.1	▲13.2	▲12.5	▲50.4	▲48.7	▲46.1
中堅企業	▲52.9	▲50.7	▲45.3	▲50.0	▲45.3	▲40.0	▲47.1	▲44.6	▲17.6	▲16.2	▲48.5	▲42.7	▲33.3
非製造業	▲56.5	▲47.5	▲44.2	▲49.7	▲42.1	▲40.0	▲49.0	▲41.4	▲18.5	▲16.4	▲46.9	▲39.0	▲36.6
小規模企業	▲51.3	▲42.3	▲39.8	▲40.0	▲34.0	▲33.9	▲40.3	▲31.4	▲14.9	▲11.5	▲38.1	▲32.0	▲31.9
中小企業	▲58.1	▲49.1	▲45.2	▲52.7	▲46.1	▲42.3	▲51.6	▲45.2	▲21.6	▲18.6	▲50.0	▲41.6	▲37.9
中堅企業	▲60.9	▲51.9	▲49.6	▲55.5	▲42.6	▲44.2	▲54.0	▲46.7	▲11.8	▲16.4	▲50.8	▲42.6	▲41.1

4 仕入価格判断

製造業、非製造業ともに上昇

『全産業』の判断は▲7・3と3・5ポイント上昇した。

『製造業』は、小規模・中小企業が低下し、中堅企業が上昇し、全体として1・4ポイント上昇した。『非製造業』は、小規模・中小企業が上昇し、中堅企業が低下し、全体では4・2ポイント上昇した。

業種別では宿泊・飲食業、医療・福祉、サービス業が低下し、それ以外の業種は上昇した。

5 生産判断（製造業のみ）

7 四半期連続低下

製造業全体の判断は1・7ポイント低下の▲43・1と7四半期連続低下した。51・5%の企業が減少と回答。小規模・中小企業がそれぞれ2・0ポイント、2・8ポイント低下し、中堅企業は5・3ポイント上昇した。

6 在庫判断

過剰感がやや弱まる

「適正」の判断が大半（91・4%）を占めるが、『全産業』では▲3・3となり、やや過剰感が弱まった。業種別では不動産業を除く業種が過剰という状況になった。

7 資金繰り判断

2 四半期連続のマイナス判断

全産業の判断は▲4・1と4・6ポイント改善したが、2 四半期連続のマイナス判断となった。『製造業』は改善。特に小規模企業の改善幅が大きく、全体では4・8ポイント改善した。『非製造業』も改善。特に中堅企業の改善幅が大きく、全体では4・6ポイント改善した。

項目	「上昇」-「低下」			「増加」-「減少」			「不足」-「過剰」			「楽である」-「苦しい」			「不足」-「過剰」			「増加」-「減少」		
	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]															
	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月															
全産業	▲10.8	▲7.3	▲7.4	—	—	—	▲4.6	▲3.3	▲2.8	▲8.7	▲4.1	▲4.8	3.6	4.2	3.5	▲8.1	▲5.8	▲5.9
小規模企業	▲5.9	▲5.9	▲7.4	—	—	—	▲2.6	▲1.5	▲2.3	▲7.0	▲2.5	▲4.3	3.1	5.0	3.9	▲4.0	▲6.1	▲7.6
中小企業	▲12.3	▲7.5	▲6.7	—	—	—	▲5.5	▲4.1	▲3.2	▲8.9	▲5.0	▲5.5	2.7	4.2	3.8	▲10.2	▲5.7	▲6.2
中堅企業	▲10.1	▲8.6	▲10.6	—	—	—	▲1.6	▲2.1	▲1.6	▲8.2	▲2.5	▲2.9	7.1	3.4	2.0	▲6.3	▲6.1	▲2.5
製造業	▲8.4	▲7.0	▲8.1	▲41.4	▲43.1	▲40.1	▲6.9	▲6.2	▲6.2	▲7.0	▲2.2	▲3.0	0.6	3.2	2.4	▲9.1	▲6.6	▲4.4
小規模企業	4.3	0.0	▲3.8	▲40.9	▲42.9	▲38.1	▲21.7	▲11.5	▲11.5	▲13.0	▲3.8	▲3.8	4.3	11.5	11.5	4.3	0.0	0.0
中小企業	▲6.4	▲6.6	▲7.4	▲42.2	▲45.0	▲42.4	▲7.3	▲5.9	▲5.9	▲8.6	▲3.3	▲4.1	▲0.4	2.2	1.5	▲12.8	▲7.1	▲6.8
中堅企業	▲19.1	▲10.7	▲12.0	▲41.8	▲36.5	▲32.4	▲1.5	▲5.3	▲5.3	0.0	2.7	1.3	0.0	4.0	2.7	▲1.5	▲6.8	2.7
非製造業	▲11.7	▲7.5	▲7.1	—	—	—	▲3.7	▲2.0	▲1.3	▲9.4	▲4.8	▲5.6	4.6	4.6	4.0	▲7.8	▲5.5	▲6.5
小規模企業	▲6.8	▲6.5	▲7.7	—	—	—	▲0.8	▲0.4	▲1.3	▲6.4	▲2.4	▲4.3	3.0	4.3	3.1	▲4.7	▲6.8	▲8.5
中小企業	▲14.9	▲8.0	▲6.3	—	—	—	▲4.7	▲3.2	▲1.8	▲9.0	▲5.9	▲6.3	4.1	5.2	5.0	▲9.0	▲4.9	▲5.8
中堅企業	▲5.0	▲7.3	▲9.8	—	—	—	▲1.7	0.0	0.9	▲12.5	▲5.4	▲5.4	10.9	3.1	1.6	▲8.8	▲5.7	▲5.7

8 雇用判断

不足感はやや強まる

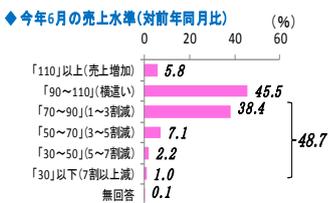
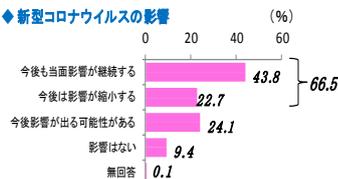
『全産業』では0・6ポイント上昇し、4・2と不足感はやや強まった。業種別では宿泊・飲食業で大きく低下し、過剰感が強まった。

9 設備投資判断

2 四半期連続のマイナス判断

『全産業』では2・3ポイント上昇の▲5・8と2 四半期連続のマイナス判断となった。小規模企業は低下し、中小・中堅企業は上昇した。

◆新型コロナウイルスの影響



経営への影響があるとする企業は66・5%で、今後影響がでるとみる企業は24・1%と前回と同様に約9割の企業が影響があると考えている。今年6月の売上水準（前年同月を「100」とする）は「売上増加（100以上）」が5・8%、「横這い（90~110）」が45・5%、「1割以上減（90未満）」が48・7%となった。発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね1年以内」までが64・9%、「見込みが立たない」が31・0%となり、企業間の格差がみられる。

兵庫県内中小企業の景況調査

(2020年7月～9月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ 新型コロナウイルスの影響について	13
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	19

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 経営企画部広報室(担当:長崎)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3247

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2020年8月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 聞き取りによるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,800社
- ◆有効回答数 1,302社(有効回答率72.3%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	385	29.6
阪神地域	284	21.8
播磨地域	494	37.9
但馬・丹波地域	36	2.8
淡路地域	103	7.9
無回答	0	0.0
合計	1,302	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・丹波篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	372	28.6	
非製造業	建設業	199	15.3
	卸売業	193	14.8
	小売業	77	5.9
	不動産業	151	11.6
	運輸業	69	5.3
	宿泊・飲食業	15	1.2
	医療・福祉	54	4.1
	サービス業	103	7.9
その他	69	5.3	
非製造業	930	71.4	
無回答	0	0.0	
合計	1,302	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	108	8.3
500万円超～1千万円以下	360	27.6
1千万円超～2千万円以下	264	20.3
2千万円超～3千万円以下	161	12.4
3千万円超～5千万円以下	201	15.4
5千万円超～1億円以下	171	13.1
1億円超	24	1.8
無回答	13	1.0
合計	1,302	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	128	9.8
	6～10名	152	11.7
	小計	280	21.5
中小企業	11～20名	227	17.4
	21～50名	390	30.0
	51～100名	197	15.1
	小計	814	62.5
中堅企業	101～200名	110	8.4
	201名以上	94	7.2
小計	204	15.7	
無回答	4	0.3	
合計	1,302	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- ・景況判断は 7.6 ポイント改善の▲49.8 となり、7 四半期ぶりに改善した。製造業、非製造業ともに企業規模にかかわらず改善したが、53.4%が「悪い」と判断している。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言が解除され、外出自粛や休業要請が緩和されるなど経済活動は徐々に戻りつつあるも、各自が外出を控えるなど人との接触を避ける行動が続いており国内消費の回復には時間を要するものと考えられる。
- ・新型コロナウイルスについて、経営への影響があるとする企業は 66.5%で、今後影響がでるとみる企業は 24.1%と前回（5月）と同様に約 9 割の企業が現状もしくは今後影響があると考えている。
- ・今年 6 月の売上水準（前年同月を「100」とする）は、「売上増加（110 以上）」が 5.8%、「横這い（90～110）」が 45.5%、「1 割以上減（90 未満）」が 48.7%となった。
- ・発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね 1 年以内」までが 64.9%、「見込みが立たない」が 31.0%となり、企業間の格差がみられる。
- ・今後の見通しは 2.9 ポイント改善の▲46.9 となった。前回の大幅マイナスからは改善したものの景況判断水準は低く、景気回復の遅れが懸念される。

景況判断 DI は 7.6 ポイント改善の▲49.8
先行きは 2.9 ポイント改善の▲46.9

項目	最近3ヵ月 〔2020年7月～9月〕	今後3ヵ月 〔2020年10月～12月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	・全産業では▲49.8 と 7 四半期ぶりに改善するも、53.4%が「悪い」と判断。 ・製造業、非製造業とも改善。	・全産業では 2.9 ポイントの改善の▲46.9 を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
売上高判断 （前年同期比） 「増加」-「減少」	・全産業では 5.4 ポイント改善の▲44.8。 ・製造業、非製造業ともに、販売数量、販売単価ともに上昇。	・全産業では 2.8 ポイントの改善の▲42.0。 ・製造業、非製造業ともに、販売数量が上昇し、改善を見込む。
経常利益判断 （前年同期比） 「増加」-「減少」	・全産業では 6.4 ポイント改善の▲41.2。 ・製造業、非製造業ともに企業規模にかかわらず改善した。	・全産業では 3.0 ポイントの改善の▲38.2 を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」-「低下」	・全産業では 3.5 ポイント上昇の▲7.3。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では 0.1 ポイントの低下を見込む。 ・製造業は低下、非製造業は上昇を見込む。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」-「減少」	・製造業全体では 1.7 ポイント低下の▲43.1 と 7 四半期連続で低下。 ・51.5%の企業が「減少」と回答。	・製造業全体では 3.0 ポイントの上昇予想。 ・企業規模にかかわらず、上昇を見込む。
在庫判断 「不足」-「過剰」	・「適正」とする企業が 9 割超。 ・全産業では過剰感はやや弱まり▲3.3。 ・製造業、非製造業とも過剰と判断。	・今後とも「適正」とする企業が多い。 ・全産業では▲2.8 と過剰感がやや弱まると予想。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	・全産業では 4.6 ポイント悪化の▲4.1 と 2 四半期連続のマイナス判断。 ・「楽」もしくは「普通」が大半を占める。	・全産業では 0.7 ポイントの悪化の▲4.8 を予想。 ・製造業、非製造業ともに悪化すると予想。
雇用判断 「不足」-「過剰」	・全産業では 4.2 と不足感はやや強まった。 ・製造業で不足感はやや強まる。	・全産業では不足感が 0.7 ポイント弱まると予想。
設備投資判断 「増加」-「減少」	・全産業では 2.3 ポイント上昇の▲5.8。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では 0.1 ポイントの低下予想。 ・製造業で上昇、非製造業で低下予想。
新型コロナウイルスの影響	・経営への影響があるとする企業は 66.5%で、今後影響がでるとみる企業は 24.1%と前回（5月）と同様に約 9 割の企業が現状もしくは今後影響があると考えている。	
今年 6 月の売上水準	・前年同月を「100」とすると、「売上増加（110 以上）」が 5.8%、「横這い（90～110）」が 45.5%、「1 割以上減（90 未満）」が 48.7%となった。	
業績の回復する時期	・発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね 1 年以内」までが 64.9%、「見込みが立たない」が 31.0%となり、企業間の格差がみられる。	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、7.6ポイント改善の▲49.8と7四半期ぶりに改善した。しかしながら、53.4%が「悪い」と判断している。

業種別・・・『製造業』は、企業規模に関わらず改善し、全体として4.2ポイント改善の▲55.4となるも、5四半期連続のマイナス判断となった。

『非製造業』は、全体では9.0ポイント改善の▲47.5と、「その他」以外のすべての業種で改善となった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)、『中小企業』(同11～100名)、『中堅企業』(同101名以上)のいずれも改善した。

【参考】

地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)とも改善した。

業種別・・・『小売業』、『医療・福祉』、『運輸業』、『不動産業』の4業種は10ポイントを上回る改善となった。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月～12月]

全産業・・・先行きは、2.9ポイント改善の▲46.9を予想している。

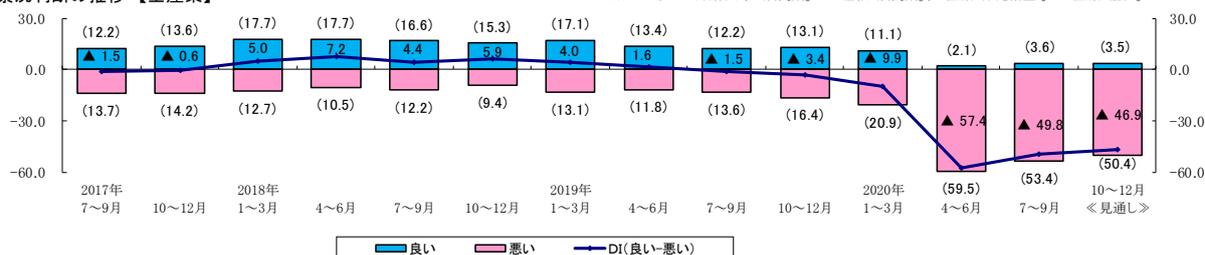
業種別・・・『製造業』は1.9ポイント、『非製造業』は3.3ポイントの改善を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに改善を見込んでいる。小規模企業より中小・中堅企業の方が景況判断水準は低い。

項目	「良い」-「悪い」				
	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》
全産業	▲3.4	▲9.9	▲57.4	▲49.8	▲46.9
小規模企業	▲10.7	▲10.2	▲52.1	▲43.4	▲39.6
中小企業	▲2.2	▲8.7	▲59.0	▲51.7	▲49.2
中堅企業	1.8	▲12.6	▲58.2	▲51.5	▲48.0
製造業	▲10.7	▲17.7	▲59.6	▲55.4	▲53.5
小規模企業	▲36.0	▲43.5	▲60.9	▲53.8	▲38.5
中小企業	▲9.1	▲14.8	▲61.1	▲56.8	▲57.2
中堅企業	▲6.6	▲20.5	▲52.9	▲50.7	▲45.3
非製造業	▲0.9	▲7.0	▲56.5	▲47.5	▲44.2
小規模企業	▲8.6	▲7.7	▲51.3	▲42.3	▲39.8
中小企業	0.7	▲5.8	▲58.1	▲49.1	▲45.2
中堅企業	6.2	▲8.8	▲60.9	▲51.9	▲49.6

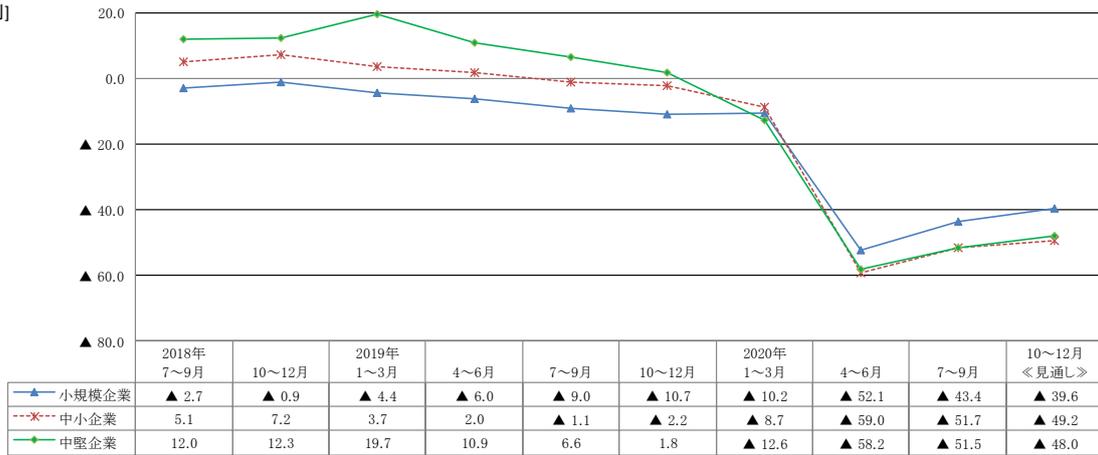
項目	「良い」-「悪い」					
	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	0.7	▲12.1	▲63.0	▲57.4	▲54.5
	阪神地域	▲0.8	▲6.0	▲49.8	▲45.4	▲38.7
	播磨地域	▲6.7	▲9.1	▲54.3	▲43.9	▲44.0
	但馬・丹波地域	▲7.3	▲18.3	▲71.4	▲63.9	▲58.3
	淡路地域	▲12.6	▲11.6	▲66.3	▲56.3	▲50.5
	製造業	▲10.7	▲17.7	▲59.6	▲55.4	▲53.5
業種別	建設業	10.8	7.2	▲40.1	▲30.8	▲30.8
	卸売業	▲15.0	▲15.0	▲65.0	▲59.4	▲52.3
	小売業	▲23.5	▲24.2	▲81.5	▲64.9	▲54.5
	不動産業	1.1	▲6.7	▲45.3	▲33.1	▲32.5
	運輸業	5.5	▲1.4	▲66.7	▲53.6	▲52.2
	宿泊・飲食業	6.7	▲25.0	▲100.0	▲93.3	▲86.7
	医療・福祉	13.3	3.6	▲57.7	▲44.4	▲37.0
	サービス業	0.8	▲9.3	▲59.4	▲56.3	▲54.4
	その他	7.7	▲9.7	▲47.1	▲47.8	▲47.8

景況判断の推移【全産業】

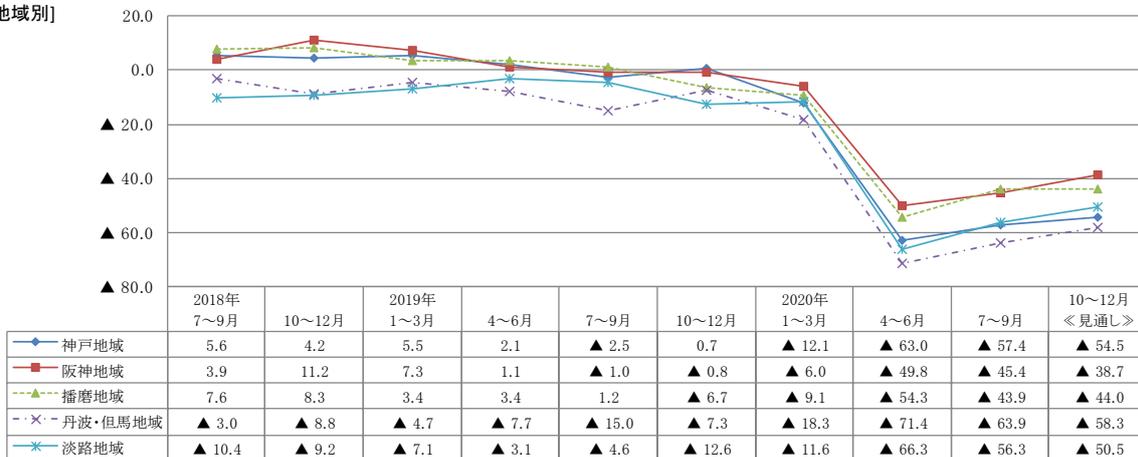


景況判断の推移明細

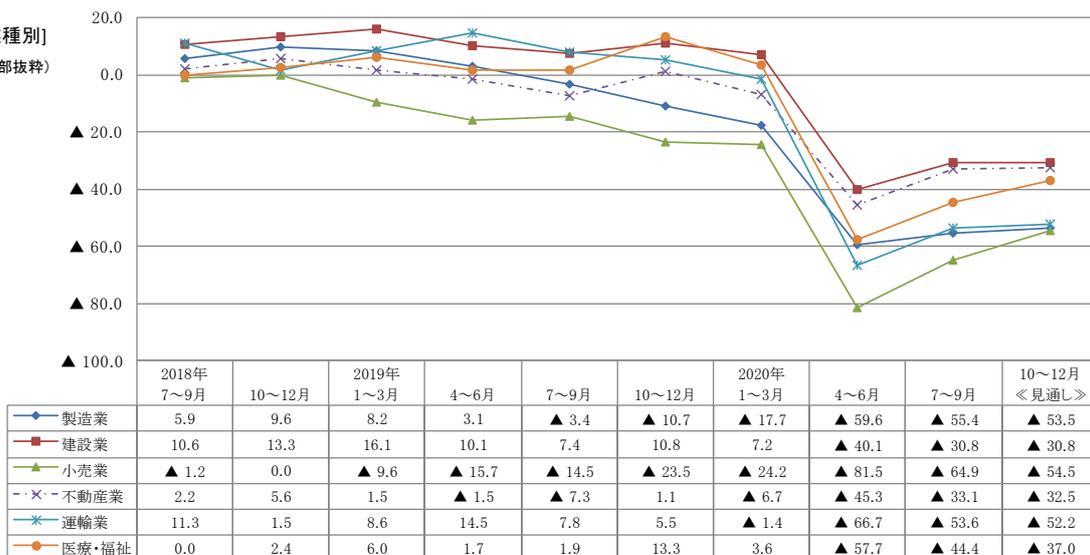
[規模別]



[地域別]



[業種別]
(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、全体では▲44.8となり5.4ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は販売数量、販売単価とも上昇し、▲51.3となった。『非製造業』も販売数量、販売単価とも上昇し、▲42.1となった。

規模別・・・販売数量は規模の大小に関わらず上昇し、全体では5.5ポイント上昇の▲44.0となった。販売単価は小規模・中小企業で上昇したが、中堅企業では低下し、1.8ポイント上昇の▲15.5となった。

【参考】

地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)すべて改善するも、全地域で2四半期以上連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『医療・福祉』、『サービス業』が悪化し、それ以外の業種は改善となった。特に小売業は25.9ポイントと改善幅が大きい。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・先行きは、2.8ポイント改善し、▲42.0になると予想している。

業種別・・・『製造業』は4.3ポイント改善の▲47.0、『非製造業』は2.1ポイント改善の▲40.0を見込む。

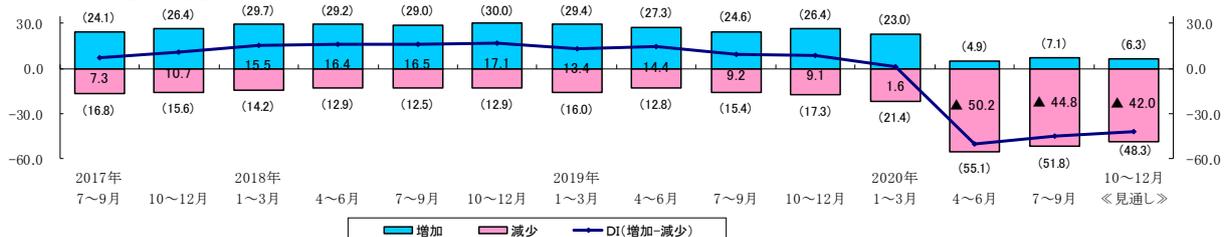
規模別・・・小規模企業は販売数量、販売単価とも低下予想だが、中小・中堅企業は販売数量、販売単価とも上昇を見込んでいる。

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	9.1	1.6	▲50.2	▲44.8	▲42.0
販売数量	6.6	▲1.5	▲49.5	▲44.0	▲41.4
販売単価	8.1	4.2	▲17.3	▲15.5	▲15.7
規模別					
小規模企業	0.0	▲6.6	▲40.2	▲32.1	▲33.1
中小企業	5.8	1.6	▲52.0	▲47.9	▲44.5
中堅企業	18.1	▲5.7	▲51.5	▲45.9	▲41.3
業種別					
製造業	2.3	▲5.9	▲51.8	▲51.3	▲47.0
非製造業	11.5	4.3	▲49.7	▲42.1	▲40.0

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
地域別					
神戸地域	13.4	▲1.5	▲61.2	▲52.2	▲50.6
阪神地域	12.7	14.9	▲40.0	▲35.6	▲30.6
播磨地域	4.3	▲1.2	▲45.6	▲43.3	▲40.6
但馬・丹波地域	12.7	▲11.7	▲69.8	▲58.3	▲55.6
淡路地域	▲3.4	▲7.4	▲53.5	▲44.7	▲43.7
業種別					
製造業	2.3	▲5.9	▲51.8	▲51.3	▲47.0
建設業	15.6	22.1	▲35.5	▲25.3	▲23.7
卸売業	0.5	▲5.2	▲57.7	▲54.2	▲48.7
小売業	▲9.4	▲15.8	▲77.8	▲51.9	▲48.1
不動産業	17.6	7.3	▲33.7	▲21.9	▲21.9
運輸業	18.2	5.5	▲55.6	▲47.8	▲50.7
宿泊・飲食業	26.7	▲29.4	▲100.0	▲93.3	▲86.7
医療・福祉	26.7	14.5	▲46.2	▲46.3	▲42.6
サービス業	16.0	6.7	▲53.5	▲58.3	▲52.4
その他	12.3	▲5.6	▲49.0	▲46.4	▲52.2

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

- 全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、▲41.2と6.4ポイント改善した。
- 業種別・・・『製造業』は2.9ポイント改善の▲46.8、『非製造業』は7.9ポイント改善の▲39.0となった。『製造業』、『非製造業』ともに企業規模にかかわらず改善した。
- 規模別・・・『小規模企業』は5.9ポイント、『中小企業』は6.1ポイント、『中堅企業』は7.4ポイント改善した。

【参考】

- 地域別・・・全5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)で改善したが、全地域で2四半期以上連続のマイナス判断となった。
- 業種別・・・『サービス業』は横ばいであったが、それ以外のすべての業種で改善した。特に小売業の改善幅が30.9ポイントと大きい。

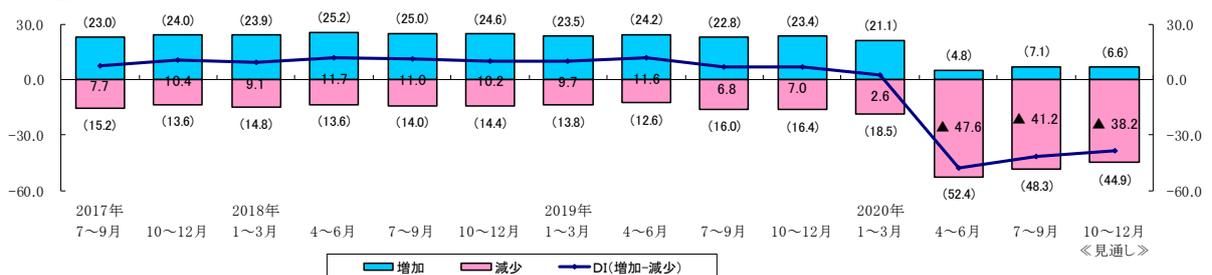
(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

- 全産業・・・先行きは、3.0ポイント改善の▲38.2を見込む。
- 業種別・・・『製造業』が4.3ポイント改善の▲42.5、『非製造業』は2.4ポイント改善の▲36.6と予想している。
- 規模別・・・『小規模企業』は0.8ポイント、『中小企業』は3.3ポイント、『中堅企業』は4.4ポイントの改善を見込んでいる。

項目	「増加」-「減少」				
	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	7.0	2.6	▲47.6	▲41.2	▲38.2
小規模企業	▲0.6	2.2	▲38.5	▲32.6	▲31.8
中小企業	8.2	4.3	▲50.1	▲44.0	▲40.7
中堅企業	13.1	▲2.9	▲50.0	▲42.6	▲38.2
製造業	▲1.4	▲4.3	▲49.7	▲46.8	▲42.5
小規模企業	▲28.0	▲21.7	▲43.5	▲38.5	▲30.8
中小企業	▲0.8	0.0	▲50.4	▲48.7	▲46.1
中堅企業	5.3	▲14.3	▲48.5	▲42.7	▲33.3
非製造業	10.0	5.1	▲46.9	▲39.0	▲36.6
小規模企業	1.7	4.0	▲38.1	▲32.0	▲31.9
中小企業	12.1	6.3	▲50.0	▲41.6	▲37.9
中堅企業	17.2	2.5	▲50.8	▲42.6	▲41.1

項目	「増加」-「減少」					
	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	12.7	2.6	▲56.1	▲46.5	▲46.2
	阪神地域	8.8	9.3	▲38.1	▲34.9	▲29.2
	播磨地域	2.6	▲0.4	▲44.0	▲39.6	▲36.2
	但馬・丹波地域	5.5	▲5.0	▲63.5	▲55.6	▲50.0
	淡路地域	▲2.3	▲1.1	▲54.5	▲41.7	▲38.8
業種別	製造業	▲1.4	▲4.3	▲49.7	▲46.8	▲42.5
	建設業	14.2	20.6	▲32.5	▲24.6	▲22.6
	卸売業	1.4	▲5.2	▲55.7	▲51.0	▲45.1
	小売業	▲12.9	▲4.3	▲79.0	▲48.1	▲44.2
	不動産業	14.4	8.9	▲29.7	▲19.2	▲22.5
	運輸業	16.7	0.0	▲53.2	▲47.8	▲46.4
	宿泊・飲食業	26.7	▲17.6	▲100.0	▲93.3	▲86.7
	医療・福祉	21.7	14.5	▲42.3	▲40.7	▲35.2
	サービス業	17.1	▲1.7	▲50.5	▲50.5	▲45.6
	その他	9.4	6.9	▲41.2	▲40.6	▲42.0

経常利益判断の推移【全産業】



4. 仕入価格判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は▲7.3と3.5ポイント上昇した。

業種別・・・『製造業』は小規模、中小企業が低下、中堅企業が上昇し、全体では1.4ポイント上昇した。
『非製造業』は小規模、中小企業が上昇し、中堅企業が低下し、全体では4.2ポイント上昇した。

規模別・・・『小規模企業』は横這い、『中小企業』は4.8ポイント上昇し、『中堅企業』は1.5ポイント上昇した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』で低下し、その他の4地域(阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)で上昇したが、全地域で2四半期連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『宿泊・飲食業』、『医療・福祉』、『サービス業』が低下し、それ以外の業種は上昇した。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月～12月]

全産業・・・先行きは、0.1ポイント低下の▲7.4と予想している。

業種別・・・『製造業』は1.1ポイント低下の▲8.1、『非製造業』は0.4ポイント上昇の▲7.1を見込む。

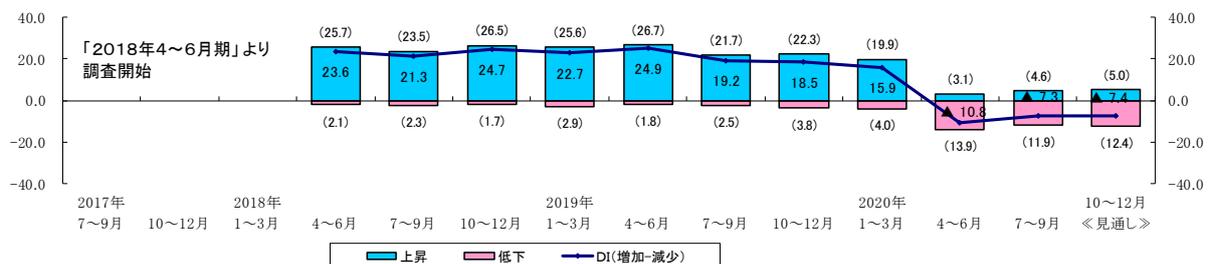
規模別・・・『小規模企業』は1.5ポイント、『中堅企業』は2.0ポイント低下し、『中小企業』は0.8ポイント上昇すると見ている。

項目	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》
全産業	18.5	15.9	▲10.8	▲7.3	▲7.4
小規模企業	18.8	15.4	▲5.9	▲5.9	▲7.4
中小企業	19.1	16.5	▲12.3	▲7.5	▲6.7
中堅企業	15.7	14.7	▲10.1	▲8.6	▲10.6
製造業	20.8	15.4	▲8.4	▲7.0	▲8.1
小規模企業	12.0	13.0	4.3	0.0	▲3.8
中小企業	23.3	16.3	▲6.4	▲6.6	▲7.4
中堅企業	15.8	13.0	▲19.1	▲10.7	▲12.0
非製造業	17.9	16.2	▲11.7	▲7.5	▲7.1
小規模企業	19.4	15.6	▲6.8	▲6.5	▲7.7
中小企業	17.2	16.8	▲14.9	▲8.0	▲6.3
中堅企業	15.7	15.6	▲5.0	▲7.3	▲9.8

項目	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	15.6	14.0	▲13.9	▲14.4	▲15.7
	阪神地域	20.7	21.4	▲3.0	▲2.9	▲3.3
	播磨地域	18.0	12.5	▲12.4	▲3.9	▲2.3
	但馬・丹波地域	20.0	23.7	▲11.3	▲11.1	▲16.7
	淡路地域	24.4	17.9	▲17.0	▲8.2	▲9.3
業種別	製造業	20.8	15.4	▲8.4	▲7.0	▲8.1
	建設業	17.5	27.1	▲4.2	▲2.1	▲1.0
	卸売業	16.6	13.4	▲16.0	▲7.9	▲7.3
	小売業	17.6	12.8	▲26.3	▲6.5	▲3.9
	不動産業	25.4	16.3	▲5.7	▲4.2	▲5.6
	運輸業	9.6	10.6	▲22.0	▲19.7	▲16.7
	宿泊・飲食業	46.7	0.0	▲23.8	▲33.3	▲33.3
	医療・福祉	8.8	12.0	2.2	0.0	0.0
	サービス業	14.7	15.0	▲14.6	▲16.2	▲16.3
	その他	15.8	10.3	▲8.3	▲4.6	▲7.7

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

仕入価格判断の推移【全産業】



5. 生産判断（製造業のみ）

(1) 最近3ヵ月〔2020年7月～9月〕

全体……最近3ヵ月の生産判断DI(「増加」-「減少」)は▲43.1となり、1.7ポイント低下と7四半期連続で低下した。51.5%の企業が減少と回答した。

規模別……『小規模企業』が2.0ポイント、『中小企業』が2.8ポイント低下し、『中堅企業』は5.3ポイント上昇した。

【参考】

地域別……『神戸地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』で上昇し、『阪神地域』、『播磨地域』で低下した。

(2) 今後3ヵ月〔2020年10月～12月〕

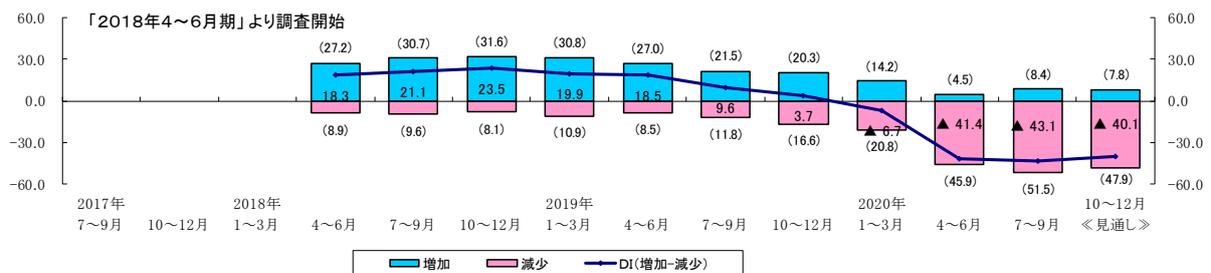
全体……先行きは、▲40.1と3.0ポイントの上昇を見込む。

規模別……『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに上昇を見込む。

項目	「増加」-「減少」				
	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》
製造業	3.7	▲6.7	▲41.4	▲43.1	▲40.1
小規模企業	▲16.0	▲31.8	▲40.9	▲42.9	▲38.1
中小企業	4.0	▲2.3	▲42.2	▲45.0	▲42.4
中堅企業	9.5	▲14.5	▲41.8	▲36.5	▲32.4

項目	「増加」-「減少」				
	2019年 10～12月	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月 《見通し》
神戸地域	8.3	▲6.5	▲47.0	▲45.3	▲33.3
阪神地域	12.7	4.3	▲43.2	▲54.5	▲34.4
播磨地域	1.7	▲9.3	▲31.1	▲38.9	▲35.5
但馬・丹波地域	0.0	▲15.4	▲74.1	▲42.9	▲27.8
淡路地域	▲15.0	5.9	▲60.0	▲52.4	▲61.5

生産判断の推移【製造業】



6. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

全産業・・・「適正」の判断が大半(91.4%)を占めるが、最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、『全産業』で▲3.3となり、過剰感がやや弱まった。

業種別・・・『製造業』は過剰感が0.7ポイント弱まり▲6.2、『非製造業』も過剰感が1.7ポイント弱まり▲2.0となった。

規模別・・・『小規模企業』は▲1.5、『中小企業』は▲4.1、『中堅企業』は▲2.1といずれも過剰と判断している。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』は不足、他の4地域(神戸、播磨、但馬・丹波、淡路)は過剰となった。

業種別・・・『不動産業』を除く業種が過剰となっている。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・今後についても「適正」とする企業が多いが、先行きは▲2.8となり、過剰の状態が続くと予想している。

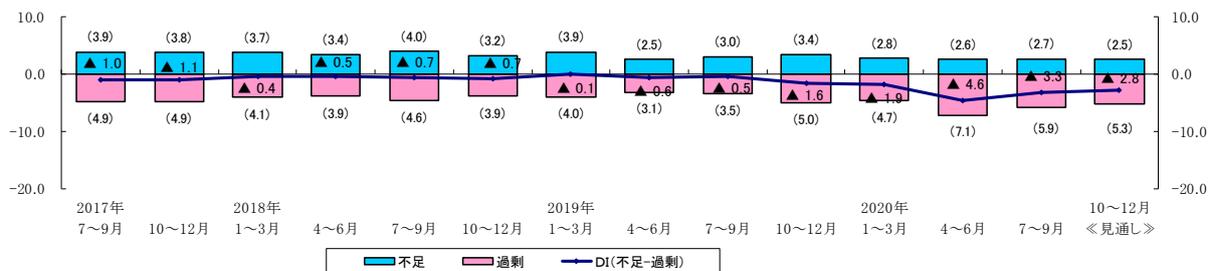
業種別・・・『製造業』は▲6.2と横ばいで、『非製造業』は▲1.3と過剰感が和らぐと見ている。

規模別・・・『中小企業』と『中堅企業』は過剰感がやや和らぎ、『小規模企業』は過剰感がやや強まると予想している。

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	▲1.6	▲1.9	▲4.6	▲3.3	▲2.8
小規模企業	0.7	▲0.7	▲2.6	▲1.5	▲2.3
中小企業	▲2.3	▲2.6	▲5.5	▲4.1	▲3.2
中堅企業	▲3.0	▲0.9	▲1.6	▲2.1	▲1.6
製造業	▲5.9	▲5.1	▲6.9	▲6.2	▲6.2
小規模企業	▲12.5	▲4.3	▲21.7	▲11.5	▲11.5
中小企業	▲4.4	▲4.8	▲7.3	▲5.9	▲5.9
中堅企業	▲9.2	▲5.2	▲1.5	▲5.3	▲5.3
非製造業	0.0	▲0.6	▲3.7	▲2.0	▲1.3
小規模企業	1.8	▲0.4	▲0.8	▲0.4	▲1.3
中小企業	▲1.2	▲1.5	▲4.7	▲3.2	▲1.8
中堅企業	0.8	1.4	▲1.7	0.0	0.9

項目	2019年 10~12月	2019年 10~12月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲1.7	▲2.4	▲3.1	▲5.0	▲5.0
	阪神地域	1.8	1.6	▲1.0	1.5	2.3
	播磨地域	▲3.7	▲5.2	▲7.5	▲4.2	▲4.2
	但馬・丹波地域	▲3.9	5.2	▲10.2	▲8.8	▲2.9
	淡路地域	▲2.4	1.1	▲4.3	▲3.1	▲1.0
業種別 非製造業	製造業	▲5.9	▲5.1	▲6.9	▲6.2	▲6.2
	建設業	1.6	3.0	1.1	▲0.6	1.1
	卸売業	▲5.2	▲5.2	▲7.0	▲7.9	▲7.3
	小売業	▲2.4	▲1.1	▲15.0	▲4.1	▲1.4
不動産業	3.5	4.4	▲0.6	0.0	▲0.7	

在庫判断の推移【全産業】



7. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、▲4.1と4.6ポイント改善したが、2 四半期連続のマイナス判断となった。

全体では「楽である」(6.3%)と「普通」(83.3%)を合わせて89.6%となり大半を占める。

業種別・・・『製造業』は改善。特に『小規模企業』の改善幅が9.2ポイントと大きく、▲3.8となり、全体では4.8ポイント改善の▲2.2なった。『非製造業』も改善。特に『中堅企業』の改善幅が7.1ポイントと大きく▲5.4となり、全体では4.6ポイント改善の▲4.8となった。

規模別・・・企業規模に関わらず改善し、特に『中堅企業』は5.7ポイント改善した。

【参考】

地域別・・・『播磨地域』はプラス判断に転じ、神戸、阪神、淡路の3地域は改善するも、マイナス判断となった。『但馬・丹波地域』はマイナス幅が拡大した。

業種別・・・『建設業』と「サービス業」が悪化し、それ以外の業種は改善した。特に『小売業』と『宿泊・飲食業』の改善幅が大きかった。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・先行きは、0.7ポイント悪化の▲4.8を見込む。

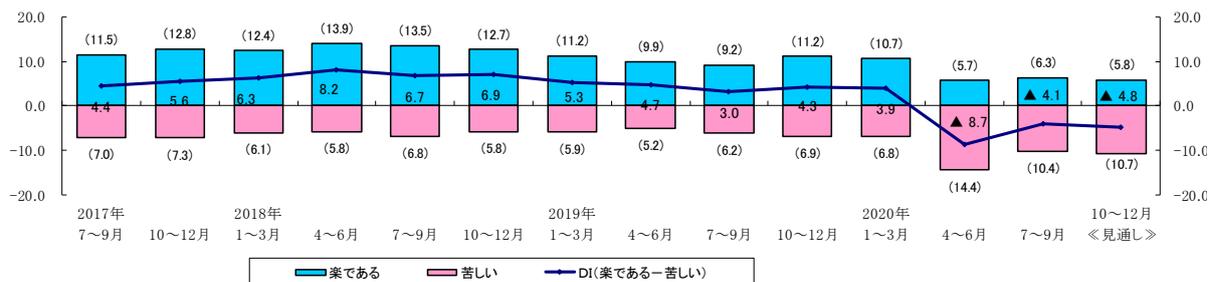
業種別・・・『製造業』は0.8ポイント悪化の▲3.0、『非製造業』は0.8ポイント悪化の▲5.6を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに悪化すると予想している。

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	4.3	3.9	▲8.7	▲4.1	▲4.8
小規模企業	0.0	▲1.6	▲7.0	▲2.5	▲4.3
中小企業	4.3	4.3	▲8.9	▲5.0	▲5.5
中堅企業	10.0	10.1	▲8.2	▲2.5	▲2.9
製造業	2.3	2.7	▲7.0	▲2.2	▲3.0
小規模企業	▲16.0	▲4.3	▲13.0	▲3.8	▲3.8
中小企業	2.0	2.6	▲8.6	▲3.3	▲4.1
中堅企業	9.3	5.2	0.0	2.7	1.3
非製造業	4.9	4.3	▲9.4	▲4.8	▲5.6
小規模企業	1.4	▲1.3	▲6.4	▲2.4	▲4.3
中小企業	5.3	5.0	▲9.0	▲5.9	▲6.3
中堅企業	10.3	12.4	▲12.5	▲5.4	▲5.4

項目	2019年 10~12月	2019年 10~12月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	7.8	6.6	▲9.4	▲6.0	▲6.8
	阪神地域	1.1	▲1.8	▲10.8	▲7.7	▲6.0
	播磨地域	5.6	8.1	▲4.5	0.4	▲1.2
	但馬・丹波地域	▲7.3	▲5.0	▲9.5	▲13.9	▲22.2
	淡路地域	1.1	▲5.3	▲18.8	▲4.9	▲5.8
業種別	製造業	2.3	2.7	▲7.0	▲2.2	▲3.0
	建設業	8.0	10.3	4.6	3.5	▲0.5
	卸売業	0.9	▲0.9	▲11.9	▲8.3	▲7.3
	小売業	▲3.5	3.2	▲24.7	0.0	0.0
	不動産業	9.6	6.7	▲5.3	1.3	1.3
	運輸業	▲1.8	4.1	▲15.9	▲11.6	▲11.6
	宿泊・飲食業	▲13.3	5.9	▲54.5	▲40.0	▲40.0
	医療・福祉	0.0	3.6	▲11.5	▲7.4	▲5.6
	サービス業	12.6	3.4	▲7.9	▲12.6	▲11.7
	その他	6.2	0.0	▲15.7	▲10.1	▲14.5

資金繰り判断の推移【全産業】



8. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、0.6ポイント上昇の4.2と、不足感はやや強まった。

業種別・・・『製造業』は2.6ポイント上昇の3.2、『非製造業』は横ばいの4.6となった。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』はそれぞれ1.9ポイント、1.5ポイント上昇したが、『中堅企業』は3.7ポイント低下した。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』、『淡路地域』は低下し、『神戸地域』、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』は上昇した。特に『但馬・丹波地域』は大幅に上昇し、不足感が強まった。

業種別・・・『運輸業』、『宿泊・飲食業』、『医療・福祉』、『サービス業』、『その他』で低下し、特に『宿泊・飲食業』の低下幅が大きく、過剰感が強まった。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・先行きは、3.5と0.7ポイント低下し、不足感がやや弱まる予想となった。

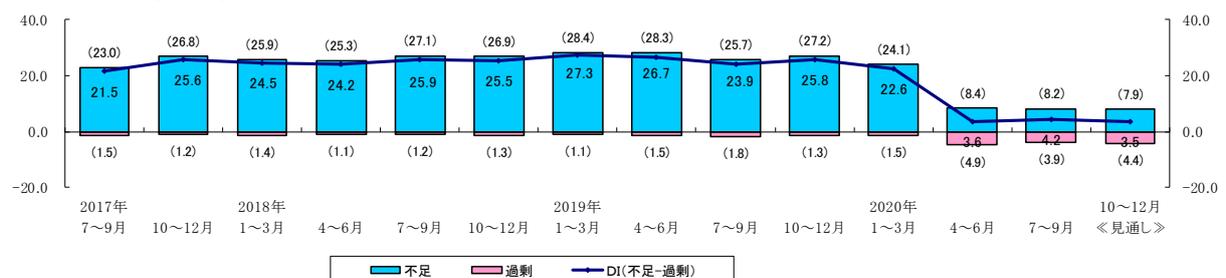
業種別・・・『製造業』は0.8ポイント低下の2.4とやや不足感が弱まり、『非製造業』も0.6ポイント低下の4.0と不足感は弱まると予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに不足感は弱まると見ている。

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	25.8	22.6	3.6	4.2	3.5
小規模企業	13.6	11.8	3.1	5.0	3.9
中小企業	27.6	23.6	2.7	4.2	3.8
中堅企業	36.5	33.1	7.1	3.4	2.0
製造業	20.1	17.3	0.6	3.2	2.4
小規模企業	8.0	26.1	4.3	11.5	11.5
中小企業	20.2	16.0	▲0.4	2.2	1.5
中堅企業	23.7	18.4	0.0	4.0	2.7
非製造業	27.7	24.5	4.6	4.6	4.0
小規模企業	14.1	10.7	3.0	4.3	3.1
中小企業	30.7	27.0	4.1	5.2	5.0
中堅企業	43.2	40.0	10.9	3.1	1.6

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	26.7	21.4	▲0.3	0.8	▲0.8
	阪神地域	21.8	16.9	5.7	4.9	5.3
	播磨地域	25.5	25.7	4.5	5.5	4.7
	但馬・丹波地域	40.0	31.7	4.8	19.4	22.2
	淡路地域	31.0	26.6	5.0	3.9	2.9
業種別	製造業	20.1	17.3	0.6	3.2	2.4
	建設業	46.5	47.1	18.3	21.6	20.6
	卸売業	14.1	8.6	▲2.5	▲1.6	▲1.0
	小売業	22.4	20.2	▲8.6	0.0	▲2.6
	不動産業	8.6	3.9	1.8	2.6	2.6
	運輸業	38.9	34.2	1.6	0.0	0.0
	宿泊・飲食業	46.7	23.5	▲9.1	▲33.3	▲33.3
	医療・福祉	41.7	34.5	11.5	0.0	0.0
	サービス業	36.1	33.6	6.1	4.9	3.9
	その他	30.2	29.6	9.8	▲1.4	▲4.3

雇用判断の推移【全産業】



9. 設備投資判断

(1) 最近3ヵ月 [2020年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、2.3ポイント上昇の▲5.8となるも、2四半期連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『製造業』は小規模、中堅企業が低下、中小企業が上昇し、全体では▲6.6と2.5ポイント上昇した。『非製造業』は小規模企業が低下し、中小、中堅企業が上昇し、▲5.5と2.3ポイント上昇した。

規模別・・・『小規模企業』が2.1ポイント低下の▲6.1、『中小企業』が4.5ポイント上昇の▲5.7、『中堅企業』が0.2ポイント上昇の▲6.1となった。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『播磨地域』、『淡路地域』が上昇、『阪神地域』、『但馬・丹波地域』が低下した。『淡路地域』は大幅に上昇し、プラス判断に転じた。

業種別・・・『不動産業』、『運輸業』は低下し、それ以外の業種は上昇した。『医療福祉』はプラス判断に転じた。

(2) 今後3ヵ月 [2020年10月~12月]

全産業・・・先行きは、0.1ポイント低下の▲5.9を見込む。

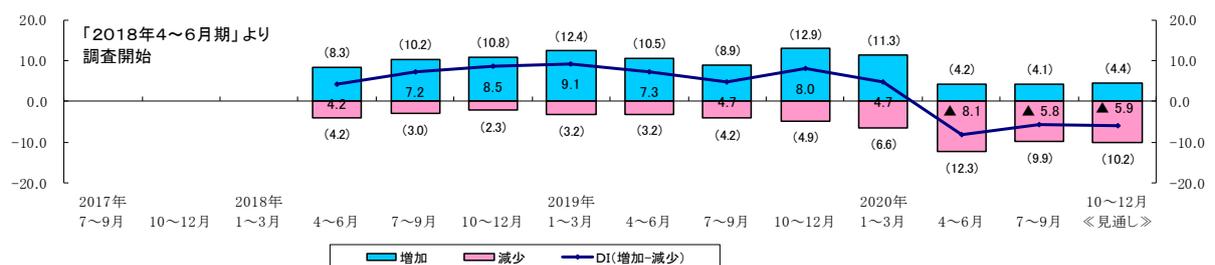
業種別・・・『製造業』は2.2ポイント上昇の▲4.4、『非製造業』は1.0ポイント低下の▲6.5を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は1.5ポイント、『中小企業』は0.5ポイントの低下、『中堅企業』は3.6ポイントの上昇を予想している。

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》
全産業	8.0	4.7	▲8.1	▲5.8	▲5.9
小規模企業	6.5	▲1.0	▲4.0	▲6.1	▲7.6
中小企業	5.9	5.1	▲10.2	▲5.7	▲6.2
中堅企業	17.9	10.7	▲6.3	▲6.1	▲2.5
製造業	5.7	3.0	▲9.1	▲6.6	▲4.4
小規模企業	4.0	▲9.1	4.3	0.0	0.0
中小企業	2.4	3.3	▲12.8	▲7.1	▲6.8
中堅企業	17.1	5.3	▲1.5	▲6.8	2.7
非製造業	8.8	5.3	▲7.8	▲5.5	▲6.5
小規模企業	6.7	▲0.3	▲4.7	▲6.8	▲8.5
中小企業	7.4	6.0	▲9.0	▲4.9	▲5.8
中堅企業	18.3	13.3	▲8.8	▲5.7	▲5.7

項目	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月	2020年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	9.3	6.9	▲9.4	▲5.4	▲5.4
	阪神地域	9.9	4.8	▲8.3	▲10.0	▲10.8
	播磨地域	5.1	1.5	▲7.3	▲5.5	▲4.1
	但馬・丹波地域	3.6	11.9	0.0	▲8.3	▲11.1
	淡路地域	11.5	5.3	▲12.0	2.9	▲1.9
業種別	製造業	5.7	3.0	▲9.1	▲6.6	▲4.4
	建設業	7.2	6.0	▲4.8	▲2.6	▲2.6
	卸売業	1.0	1.3	▲11.1	▲7.9	▲8.9
	小売業	3.6	▲3.3	▲19.2	▲6.7	▲10.7
	不動産業	9.3	8.6	▲3.1	▲5.2	▲7.5
	運輸業	16.4	5.6	0.0	▲4.4	▲4.4
	宿泊・飲食業	13.3	5.9	▲18.2	▲13.3	▲13.3
	医療・福祉	23.7	18.9	▲3.8	1.9	5.8
	サービス業	14.4	7.8	▲7.1	▲6.1	▲5.1
	その他	14.5	4.2	▲14.0	▲10.3	▲16.2

設備投資判断の推移【全産業】



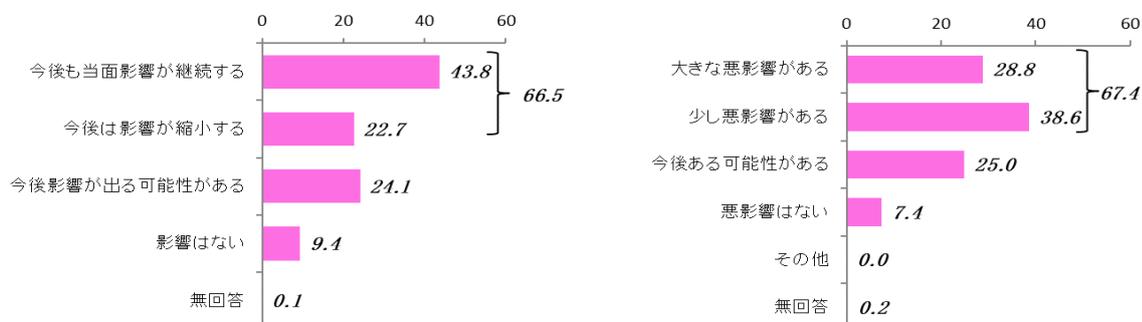
◆ 新型コロナウイルスの影響について

(1) 経営への影響

- ・ 新型コロナウイルスの経営への影響について、影響があるとする企業は 66.5%（「今後も当面影響が継続する」43.8%、「今後は影響が縮小する」22.7%）となり、前回（5月調査）と同様に7割弱の企業に影響があるとの結果となった。また、「今後影響が出る可能性がある」は24.1%となり、90.6%の企業が現状もしくは今後影響があると考えている。
- ・ 規模別に影響のある企業をみると、小規模企業は54.7%（前回60.8%）、中小企業は69.3%（同68.7%）、中堅企業が72.6%（同70.9%）となっており、前回調査と同様に企業規模の大きい企業ほど高い結果となった。
- ・ 影響があると回答した先を業種別にみると、宿泊・飲食業が93.3%（前回100.0%）、小売業が80.5%（同93.8%）となっており、上位2業種は前回と同じであるが、比率は下がっている。

今回調査

（参考：5月調査）



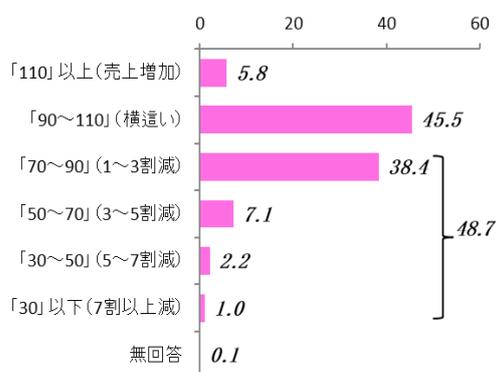
(%)

	回答 企業数 (社)	①	②	①+②	今後影響が出る 可能性がある	影響はない	無回答	合計		
		今後も当面 影響が継続 する	今後は影響 が縮小する	影響がある						
全産業	1,302	43.8	22.7	66.5	24.1	9.4	0.1	100.0		
規模別	小規模企業	280	32.9	21.8	54.7	30.7	14.6	0.0	100.0	
	中小企業	814	45.7	23.6	69.3	23.1	7.5	0.1	100.0	
	中堅企業	204	52.0	20.6	72.6	17.6	9.8	0.0	100.0	
業種別	製造業	372	51.9	19.6	71.5	24.2	4.3	0.0	100.0	
	非製造業	建設業	199	26.1	29.6	55.7	31.2	13.1	0.0	100.0
		卸売業	193	52.8	20.7	73.5	22.3	3.6	0.5	100.0
		小売業	77	51.9	28.6	80.5	13.0	6.5	0.0	100.0
		不動産業	151	22.5	25.8	48.3	29.8	21.9	0.0	100.0
		運輸業	69	46.4	20.3	66.7	24.6	8.7	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	15	73.3	20.0	93.3	6.7	0.0	0.0	100.0
		医療・福祉	54	42.6	24.1	66.7	20.4	13.0	0.0	100.0
		サービス	103	55.3	19.4	74.7	15.5	9.7	0.0	100.0
その他	69	37.7	17.4	55.1	27.5	17.4	0.0	100.0		

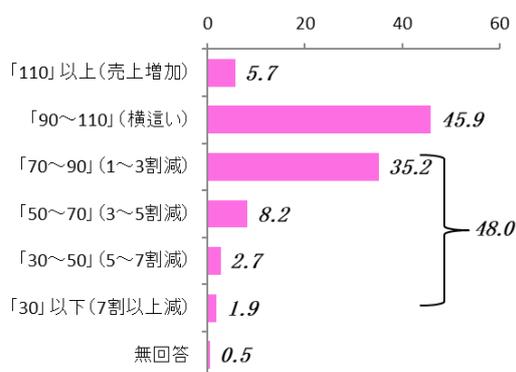
(2)今年6月の売上水準は（前年同月を100とすると）

- 今年6月の売上水準は、前年同月を「100」とすると「110」以上（売上増加）が5.8%、「90～100」（横這い）が45.5%、「70～90」（1～3割減）が38.4%、「50～70」（3～5割減）が7.1%、「30～50」（5～7割減）が2.2%、「30」以下（7割以上減）が1.0%となり、前回調査（3月の売上水準）とほぼ同様の結果となった。全産業において5割弱（48.7%）の企業が1割以上の売上減少となった。
- 売上水準を規模別にみると、中堅企業の「90～110」（横這い）は41.2%に対し、小規模企業が54.6%と高く、また、1割以上売上減の企業は、小規模企業の40.0%に対し、中小企業が51.6%、中堅企業が49.5%と高くなっており、小規模企業より中小・中堅企業の方が売上減少への影響は大きかったことがうかがえる。
- 1割以上売上減と回答した先を業種別にみても、宿泊・飲食業が80.0%（前回95.5%）、小売業が61.0%（同75.3%）と多くなっており、上位2業種は前回と同じであるが、比率は下がっている。

今回調査6月の売上水準(対前年同月比)



(参考:前回調査3月の売上水準(対前年同月比))

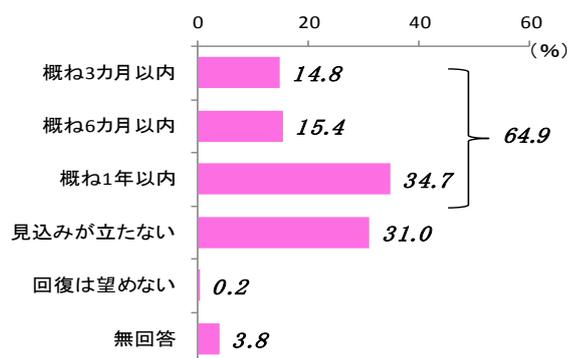


(%)

		回答 企業数 (社)	① 「110」以上 (売上増加)	② 「90～110」 (横這い)	③ 「70～90」 (1～3割減)	④ 「50～70」 (3～5割減)	⑤ 「30～50」 (5～7割減)	⑥ 「30」以下 (7割以上 減)	③+④+⑤+ ⑥ 1割以上減	無回答	合計	
全産業		1,302	5.8	45.5	38.4	7.1	2.2	1.0	48.7	0.1	100.0	
規模別	小規模企業	280	5.0	54.6	32.5	5.7	1.1	0.7	40.0	0.4	100.0	
	中小企業	814	5.2	43.2	40.3	8.1	2.2	1.0	51.6	0.0	100.0	
	中堅企業	204	9.3	41.2	39.2	5.4	3.4	1.5	49.5	0.0	100.0	
業種別	製造業	372	6.7	37.4	45.7	7.8	2.4	0.0	55.9	0.0	100.0	
	非製造業	建設業	199	7.0	58.3	29.6	4.0	1.0	0.0	34.6	0.0	100.0
		卸売業	193	7.8	40.4	36.8	10.9	3.1	1.0	51.8	0.0	100.0
		小売業	77	9.1	29.9	50.6	9.1	0.0	1.3	61.0	0.0	100.0
		不動産業	151	4.0	62.3	27.8	2.6	1.3	1.3	33.0	0.7	100.0
		運輸業	69	1.4	44.9	39.1	5.8	5.8	2.9	53.6	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	15	0.0	20.0	13.3	46.7	20.0	0.0	80.0	0.0	100.0
		医療・福祉	54	3.7	59.3	37.0	0.0	0.0	0.0	37.0	0.0	100.0
		サービス	103	3.9	36.9	45.6	5.8	1.9	5.8	59.1	0.0	100.0
その他	69	1.4	55.1	33.3	10.1	0.0	0.0	43.5	0.0	100.0		

(3) 発生前の水準に業績が回復するまでの期間

- ・新型コロナウイルス発生前の水準に業績が回復するまでの期間は、「概ね3カ月以内」が14.8%、「概ね6カ月以内」が15.4%、「概ね1年以内」が34.7%と「概ね1年以内まで」が64.9%、「見込みが立たない」が31.0%、「回復は望めない」は0.2%という結果になった。
- ・規模別にみると、小規模企業、中小企業では「概ね1年以内」がそれぞれ35.4%、35.7%と高く、中堅企業では「見込みが立たない」が33.3%と高い結果となった。
- ・業種別にみると製造業では「見込みが立たない」が37.4%と高くなっている。前述(1)経営への影響度が大きく、また同(2)1割以上の売上減少の多い「宿泊・飲食業」と「小売業」は「概ね1年以内」が66.7%、45.5%と高い結果となった。

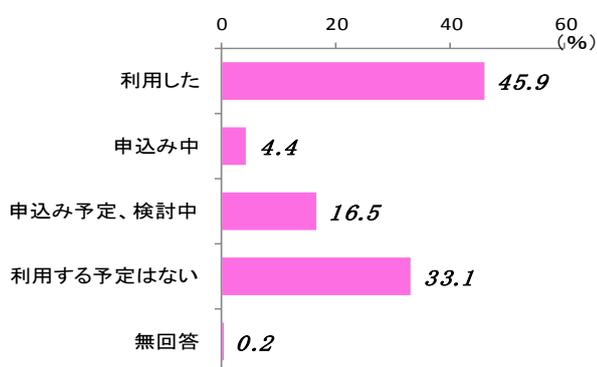


(%)

		回答 企業数 (社)	概ね3カ月以 内	概ね6カ月以 内	概ね1年以内	見込みが立た ない	回復は望め ない	無回答	合計	
全産業		1,302	14.8	15.4	34.7	31.0	0.2	3.8	100.0	
規模別	小規模企業	280	17.9	13.6	35.4	27.1	0.4	5.7	100.0	
	中小企業	814	13.1	16.1	35.7	31.7	0.2	3.1	100.0	
	中堅企業	204	17.2	15.2	29.9	33.3	0.0	4.4	100.0	
業種別	製造業	372	11.8	13.7	33.6	37.4	0.3	3.2	100.0	
	非製造業	建設業	199	17.1	19.6	36.7	21.6	0.5	4.5	100.0
		卸売業	193	10.4	20.2	36.3	31.1	0.5	1.6	100.0
		小売業	77	6.5	16.9	45.5	26.0	0.0	5.2	100.0
		不動産業	151	27.8	7.9	30.5	25.2	0.0	8.6	100.0
		運輸業	69	17.4	8.7	33.3	40.6	0.0	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	15	0.0	6.7	66.7	26.7	0.0	0.0	100.0
		医療・福祉	54	25.9	20.4	33.3	18.5	0.0	1.9	100.0
		サービス	103	12.6	18.4	31.1	35.9	0.0	1.9	100.0
その他	69	13.0	13.0	29.0	36.2	0.0	8.7	100.0		

(4) 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況

- ・ 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況は、「利用した」が 45.9%、「申込み中」が 4.4%、「申込み予定、検討中」が 16.5%、「利用する予定はない」が 33.1%という結果となった。
- ・ 規模別にみても小規模企業、中小企業では「利用した」が 48.9%、47.4%と高く、多くの企業が利用している。中堅企業では「利用した」が 36.3%で、「利用する予定はない」が 45.6%と高い結果となった。
- ・ 業種別にみても「医療・福祉」は「利用する予定がない」が高いが、それ以外の業種では「利用した」が高い結果となった。特に前述 (1) 経営への影響度が大きく、また (2) 1割以上の売上減少の多い「宿泊・飲食業」と「小売業」は 66.7%、59.7%と、利用した企業が多かった。

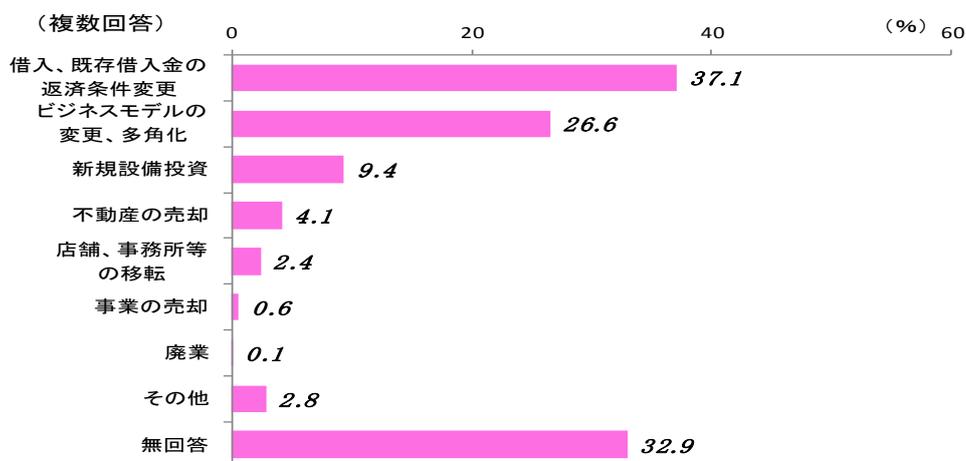


(%)

		回答 企業数 (社)	利用した	申込み中	申込み予 定、検討中	利用する予定 はない	無回答	合計	
全産業		1,302	45.9	4.4	16.5	33.1	0.2	100.0	
規模別	小規模企業	280	48.9	3.2	16.8	31.1	0.0	100.0	
	中小企業	814	47.4	4.9	17.0	30.5	0.2	100.0	
	中堅企業	204	36.3	3.9	14.2	45.6	0.0	100.0	
業種別	製造業	372	47.6	4.6	14.0	33.6	0.3	100.0	
	非製造業	建設業	199	44.7	3.5	20.1	31.2	0.5	100.0
		卸売業	193	45.6	5.2	17.6	31.6	0.0	100.0
		小売業	77	59.7	2.6	14.3	23.4	0.0	100.0
		不動産業	151	41.1	4.6	14.6	39.7	0.0	100.0
		運輸業	69	43.5	7.2	13.0	36.2	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	15	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
		医療・福祉	54	27.8	5.6	20.4	46.3	0.0	100.0
		サービス	103	54.4	1.9	19.4	24.3	0.0	100.0
その他	69	34.8	5.8	23.2	36.2	0.0	100.0		

(5)既に実施または、今後実施を検討している対策

- ・既に実施または今後実施を検討している対策は、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」が37.1%、「ビジネスモデルの変更、多角化」が26.6%、「新規設備投資」が9.4%、「不動産の売却」が4.1%、「店舗、事務所等の移転」が2.4%、「事業の売却」が0.6%、「廃業」が0.1%という結果になった。
- ・規模別でみてみると、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」は企業規模が小さいほど高く、「新規設備投資」は企業規模が大きいほど高くなった。「ビジネスモデルの変更、多角化」は小規模企業より中小・中堅企業の方が高いという結果になった。
- ・業種別にみてみると、非製造業に比べて製造業の方が、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」、「ビジネスモデルの変更、多角化」、「新規設備投資」の項目で高くなった。



(複数回答)

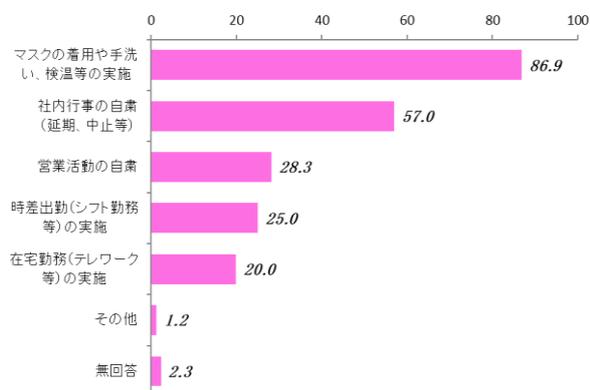
(%)

	回答企業数 (社)	資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更	ビジネスモデルの変更、多角化	新規設備投資	不動産の売却	店舗、事務所等の移転	事業の売却	廃業	その他	無回答	
全産業	1,302	37.1	26.6	9.4	4.1	2.4	0.6	0.1	2.8	32.9	
規模別	小規模企業	280	40.7	19.3	7.1	7.9	1.8	0.0	3.6	35.4	
	中小企業	814	36.7	29.0	9.2	2.7	2.5	0.9	0.1	2.6	32.3
	中堅企業	204	33.8	27.5	13.2	4.9	2.9	0.5	0.0	2.9	31.4
業種別	製造業	372	38.7	32.0	11.6	2.2	0.8	1.3	0.0	3.0	28.8
	非製造業	930	36.5	24.4	8.5	4.9	3.0	0.3	0.1	2.8	34.6

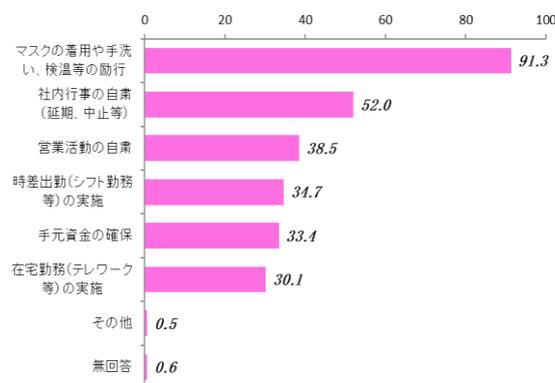
(6) 現在、対策として実施しているものは

- ・現在、対策として実施しているものは、「マスクの着用や手洗い、検温等の励行」が 86.9%（対前回調査比 4.4%減）、「社内行事の自粛」が 57.0%（同 5.0%増）、「営業活動の自粛」が 28.3%（同 10.2%減）、「時差出勤（シフト勤務等）の実施」が 25.0%（同 9.7%減）、「在宅勤務（テレワーク等）の実施」が 20.0%（同 10.1%減）となった。前回調査時に比べ、外出自粛や休業要請が緩和されていることに伴い、対策を一部緩めているという結果になった。
- ・規模別では、「社内行事の自粛」、「営業活動の自粛」、「時差出勤の実施」、「在宅勤務の実施」の項目において、前回調査と同様に企業規模が大きい企業の方が高いという結果となった。
- ・業種別では、各対策の実施している項目の順は、製造業、非製造業ともに変わらない。前回調査と同様に、各項目ともに製造業の方の比率が高いという結果となった。

今回調査(8月)



(参考: 前回(5月)調査)



(複数回答)

(%)

	回答企業数(社)	マスクの着用や手洗い、検温等の実施	社内行事の自粛(延期、中止等)	営業活動の自粛	時差出勤(シフト勤務等)の実施	在宅勤務(テレワーク等)の実施	その他	無回答	
全産業	1,302	86.9	57.0	28.3	25.0	20.0	1.2	2.3	
規模別	小規模企業	280	83.9	42.5	23.6	15.4	11.4	1.4	5.4
	中小企業	814	88.2	59.1	28.0	24.9	19.5	1.2	1.5
	中堅企業	204	86.3	68.6	36.3	38.2	33.8	1.0	1.5
業種別	製造業	372	89.2	68.8	37.4	29.6	22.8	1.9	1.1
	非製造業	930	86.0	52.3	24.6	23.2	18.8	1.0	2.8

IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2019年 10～12月				2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	13.1	70.5	16.4	▲3.4	11.1	68.0	20.9	▲9.9	2.1	38.4	59.5	▲57.4	3.6	43.0	53.4	▲49.8	3.5	46.0	50.4	▲46.9
小規模企業	6.9	75.4	17.7	▲10.7	8.1	73.6	18.3	▲10.2	1.7	44.4	53.8	▲52.1	2.2	52.3	45.5	▲43.4	2.5	55.4	42.1	▲39.6
中小企業	14.6	68.6	16.8	▲2.2	12.5	66.2	21.2	▲8.7	2.1	36.8	61.1	▲59.0	3.1	42.2	54.7	▲51.7	3.1	44.6	52.3	▲49.2
中堅企業	15.3	71.2	13.5	1.8	10.1	67.2	22.7	▲12.6	3.1	35.7	61.2	▲58.2	7.8	32.8	59.3	▲51.5	6.9	38.2	54.9	▲48.0
製造業	12.4	64.4	23.2	▲10.7	8.6	65.1	26.3	▲17.7	3.3	33.7	63.0	▲59.6	5.1	34.4	60.5	▲55.4	3.8	39.0	57.3	▲53.5
小規模企業	0.0	64.0	36.0	▲36.0	8.7	39.1	52.2	▲43.5	8.7	21.7	69.6	▲60.9	7.7	30.8	61.5	▲53.8	11.5	38.5	50.0	▲38.5
中小企業	13.9	63.1	23.0	▲9.1	10.0	65.2	24.8	▲14.8	2.1	34.6	63.2	▲61.1	3.3	36.5	60.1	▲56.8	2.2	38.4	59.4	▲57.2
中堅企業	11.8	69.7	18.4	▲6.6	3.8	71.8	24.4	▲20.5	5.9	35.3	58.8	▲52.9	10.7	28.0	61.3	▲50.7	6.7	41.3	52.0	▲45.3
非製造業	13.2	72.6	14.1	▲0.9	11.9	69.1	19.0	▲7.0	1.7	40.0	58.3	▲56.5	3.0	46.4	50.5	▲47.5	3.4	48.9	47.7	▲44.2
小規模企業	7.5	76.4	16.1	▲8.6	8.0	76.3	15.7	▲7.7	1.1	46.4	52.5	▲51.3	1.6	54.5	43.9	▲42.3	1.6	57.1	41.3	▲39.8
中小企業	14.8	71.0	14.1	0.7	13.7	66.8	19.5	▲5.8	2.1	37.8	60.1	▲58.1	3.0	45.0	52.0	▲49.1	3.5	47.8	48.7	▲45.2
中堅企業	17.1	71.9	11.0	6.2	13.1	65.0	21.9	▲8.8	1.6	35.9	62.5	▲60.9	6.2	35.7	58.1	▲51.9	7.0	36.4	56.6	▲49.6

項目	2019年 10～12月				2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	16.6	67.5	15.9	0.7	12.1	63.7	24.2	▲12.1	2.0	32.9	65.0	▲63.0	1.8	39.0	59.2	▲57.4	2.9	39.7	57.4	▲54.5
	阪神地域	11.3	76.5	12.2	▲0.8	10.1	73.7	16.1	▲6.0	1.6	47.0	51.4	▲49.8	2.5	49.6	47.9	▲45.4	3.2	54.9	41.9	▲38.7
	播磨地域	12.9	67.6	19.5	▲6.7	12.6	65.7	21.7	▲9.1	2.7	40.3	57.0	▲54.3	6.1	43.9	50.0	▲43.9	5.1	45.8	49.1	▲44.0
	但馬・丹波地域	12.7	67.3	20.0	▲7.3	6.7	68.3	25.0	▲18.3	3.2	22.2	74.6	▲71.4	0.0	36.1	63.9	▲63.9	0.0	41.7	58.3	▲58.3
	淡路地域	4.6	78.2	17.2	▲12.6	4.2	80.0	15.8	▲11.6	1.0	31.7	67.3	▲66.3	2.9	37.9	59.2	▲56.3	1.0	47.6	51.5	▲50.5
業種別	製造業	12.4	64.4	23.2	▲10.7	8.6	65.1	26.3	▲17.7	3.3	33.7	63.0	▲59.6	5.1	34.4	60.5	▲55.4	3.8	39.0	57.3	▲53.5
	建設業	19.3	72.2	8.5	10.8	17.9	71.3	10.8	7.2	2.0	55.8	42.1	▲40.1	3.5	62.1	34.3	▲30.8	4.5	60.1	35.4	▲30.8
	卸売業	8.9	67.1	23.9	▲15.0	11.2	62.7	26.2	▲15.0	3.0	29.0	68.0	▲65.0	4.2	32.3	63.5	▲59.4	5.7	36.3	58.0	▲52.3
	小売業	7.1	62.4	30.6	▲23.5	10.5	54.7	34.7	▲24.2	2.5	13.6	84.0	▲81.5	6.5	22.1	71.4	▲64.9	5.2	35.1	59.7	▲54.5
	不動産業	8.5	84.0	7.4	1.1	6.7	79.9	13.4	▲6.7	0.0	54.7	45.3	▲45.3	0.7	65.6	33.8	▲33.1	0.7	66.2	33.1	▲32.5
	運輸業	12.7	80.0	7.3	5.5	16.4	65.8	17.8	▲1.4	0.0	33.3	66.7	▲66.7	1.4	43.5	55.1	▲53.6	1.4	44.9	53.6	▲52.2
	宿泊・飲食業	26.7	53.3	20.0	6.7	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	6.7	93.3	▲93.3	0.0	13.3	86.7	▲86.7
	医療・福祉	20.0	73.3	6.7	13.3	10.9	81.8	7.3	3.6	1.9	38.5	59.6	▲57.7	1.9	51.9	46.3	▲44.4	1.9	59.3	38.9	▲37.0
	サービス業	14.3	72.3	13.4	0.8	11.0	68.6	20.3	▲9.3	2.0	36.6	61.4	▲59.4	4.9	34.0	61.2	▲56.3	4.9	35.9	59.2	▲54.4
その他	18.5	70.8	10.8	7.7	11.1	68.1	20.8	▲9.7	2.0	49.0	49.0	▲47.1	0.0	52.2	47.8	▲47.8	0.0	52.2	47.8	▲47.8	

【各種判断】

「苦しい」

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2019年 10～12月				2020年 1～3月				2020年 4～6月				2020年 7～9月				2020年 10～12月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	26.4	56.4	17.3	9.1	23.0	55.6	21.4	1.6	4.9	40.0	55.1	▲50.2	7.1	41.1	51.8	▲44.8	6.3	45.3	48.3	▲42.0
経常利益判断	23.4	60.2	16.4	7.0	21.1	60.4	18.5	2.6	4.8	42.8	52.4	▲47.6	7.1	44.5	48.3	▲41.2	6.6	48.5	44.9	▲38.2
仕入価格判断	22.3	73.9	3.8	18.5	19.9	76.1	4.0	15.9	3.1	83.0	13.9	▲10.8	4.6	83.5	11.9	▲7.3	5.0	82.5	12.4	▲7.4
生産判断【製造業のみ】	20.3	63.0	16.6	3.7	14.2	65.0	20.8	▲6.7	4.5	49.7	45.9	▲41.4	8.4	40.1	51.5	▲43.1	7.8	44.3	47.9	▲40.1
在庫判断	3.4	91.6	5.0	▲1.6	2.8	92.6	4.7	▲1.9	2.6	90.3	7.1	▲4.6	2.7	91.4	5.9	▲3.3	2.5	92.2	5.3	▲2.8
資金繰り判断	11.2	82.0	6.9	4.3	10.7	82.5	6.8	3.9	5.7	79.9	14.4	▲8.7	6.3	83.3	10.4	▲4.1	5.8	83.5	10.7	▲4.8
雇用判断	27.2	71.5	1.3	25.8	24.1	74.3	1.5	22.6	8.4	86.7	4.9	3.6	8.2	87.9	3.9	4.2	7.9	87.7	4.4	3.5
設備投資判断	12.9	82.2	4.9	8.0	11.3	82.1	6.6	4.7	4.2	83.5	12.3	▲8.1	4.1	85.9	9.9	▲5.8	4.4	85.4	10.2	▲5.9